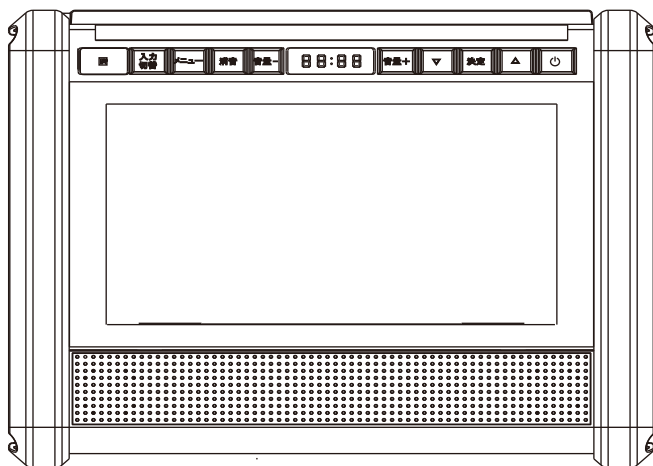


取扱説明書・保証書

お買い上げいただきありがとうございました。
 なお、この取扱説明書（保証書付）は、大切に
 保管してください。
 万一ご使用中にわからないことや不都合が
 生じたとき、きっとお役に立ちます。

製品名

**テレビ・ラジオ搭載
 パワーステーション
 DTV101-256**



キュリオムサポートセンター



0570-00-9106

月～金 午前10時～午後5時30分

（土・日・祝祭日・年末年始を除く）

※ ナビダイヤルは一部の電話では
 ご利用にできない場合がございます。

メールでのお問い合わせ：

E-mail : support@qriom.com



YAMAZENBOOK
 商品の詳細はこちら

目 次

■ 安全上のご注意	2
■ 使用上のお願い	6
■ ご使用の前に	8
■ 本体各部の名称・機能	9
■ リモコン各部の名称・機能	13
■ リモコン・本体の準備・説明	15
■ 電源部を使用する	19
ACアダプターを使用する	19
シガーソケットアダプターを使う	19
USB-A端子から給電する	20
USB-C端子から充電/給電する	21
ソーラーパネルから充電する	22
LEDライトを使う	23
本体のコンセントを使う	23
■ テレビを視聴する	24
テレビを視聴する前に	24
miniB-CASカードを入れる	25
TV受信アンテナを準備する	26
接続とチャンネル受信	27
基本的な使い方	28
本体ボタン操作について	29
TV設定をする	31
■ FMラジオを聴く	33
FMラジオを聴く前に	33
本体ボタン操作について	33
操作及び表示	35
■ 緊急警報放送	37
■ 外部メモリーを再生する	38
USBメモリーの再生	38
メモリー内のデータを再生する	38
USBメモリーボタン操作	39
データ再生時の操作<操作バー>	41
■ 本体各種設定	43
■ 外部端子	45
イヤホン(別売)を使用する	45
HDMI端子を使用する	45
■ ご注意	46
■ 主な仕様	47
■ 故障かな?と思ったら	49
■ 保証規定/保証書	裏表紙

安全上のご注意 必ずお読みください

- ご使用の前に「安全上のご注意」と「取扱説明書」の内容をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した項目は、製品を安全に正しくお使い頂きお使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐものです。また、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容を表示しています。

注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

●アイコンの表示例

⊖ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容が書かれています。

 左図の場合は「分解禁止」を表しています。

● 記号は行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示をする内容が書かれています。

 左図の場合は「電源プラグをコンセントから抜いてください」を表しています。



警告

警告を無視して取扱いをすると、万一の場合死亡または重傷を負う可能性があります。



濡れ禁止

本体内部に水や異物を入れない
火災や感電、故障の原因になります。



浴室使用禁止

浴室、シャワー室など湿気がある場所では使用しない

火災や感電、故障の原因になります。



濡れ手禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

火災や感電、故障の原因になります。



禁止

自動車やオートバイの運転中は使用しない

運転中の機器の操作は交通事故の原因になります。



禁止

煙が出たり、異常な音やにおいがするなど、異常な状態のまま使用しない

火災や感電、故障の原因になります。



指示に従う

定格電圧以外の電圧では使用しない

機器の故障や、火災や感電の原因になります。



分解禁止

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わない

発火したり、異常動作をしてケガの原因になります。



禁止

付属のアダプター以外は使用しない

付属のアダプターを他の機器で使用しない

製品故障、異常発熱、火災、感電の原因となります。

安全上のご注意 必ずお読みください



警告

警告を無視して取扱いをすると、万一の場合
死亡または重傷を負う可能性があります。



指示に
従う

**シガーソケットアダプターを使用の
場合、必ずエンジン始動後に接続し
てください**

エンジン始動時に接続していると一時的に高電圧や大電流（サージ電流）が発生するため、故障の原因となります。また、本体が異常な（発煙、熱い、においがする）は、シガーソケットから外してください。



指示に
従う

**お手入れの際は必ずACアダプター
を抜いてください**

ケガや感電の原因になります。また、雷が鳴っているときは、本体、ACアダプターに触れないでください。落雷すると感電する恐れがあります。



注意

注意を無視した取扱いをすると、物的損害を
被ったり、傷害を負う可能性があります。



指示に
従う

**電源プラグを抜くときは、電源コード
を持たずに、必ず電源プラグを持
って引き抜く**

感電やショートして発火する恐れがあります。



禁止

初めからボリュームを上げすぎない
突然大きな音が出て耳を痛める原因
となります。



禁止

**湿度の高い所やほこりのある場所
で使用しない**

火災や感電、故障の原因になります。



禁止

**自動車内など高温になる場所に放
置しない**

機器の変形や故障の原因になります。



禁止

**ACアダプターを傷つけたり、破損、
切断、加工をしない**
また、ACアダプターを束ねたり、
延長、固定、タコ足配線で使用しない

発熱などにより、火災、故障の原因になります。ACアダプターが傷ついている場合は、ただちにご使用をやめてください。火災や感電の原因になります。



禁止

**本機を移動させるときは、ACアダ
プターをコンセントから抜く**
また、長期で外出をするときや長期
間で使用にならないときは、安全の
ため、必ずACアダプターをコンセ
ントから抜く

火災などの原因になります。



禁止

**本体を傾いた場所や不安定な場所
に設置しない**

本体が落下して、破損やケガをする原因
になります。



禁止

**本体を持ち運ぶときは、過度な衝撃
や振動を与えない**

故障や破損の原因になります。

安全上のご注意 必ずお読みください

⚠ 注意

注意を無視した取扱いをすると、物的損害を被ったり、傷害を負う可能性があります。



禁止

本体の内部に異物を入れない
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください
また、本機を乳幼児には触れさせない

故障や火災、感電の原因になります。



禁止

本製品の防塵・防水規格は保護等級IP44(InterNational Electro-technical Commission)規格に準ずる。本体を水ぶきしたり、雨天、水しぶきがかかる環境下で使用が可能です
浸水または水没、豪雨時での長時間の放置や放水、お風呂場等ではご使用にならないでください



指示に従う

リモコンの電池は極性の向きを正しく入れてください

誤って入れると、破裂、液もれの原因になります。また、電池を加熱、分解すると破裂する危険があります。



禁止

本製品やACアダプターを、布や布団などでおおった状態で使用しない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。



禁止

本体内部の部品をさわらないでください

ケガの原因になることもあります。また、高温になった部品にさわると、やけどの原因になることがあります。ケースなどの外装部品が破損しても本体内部の部品には触れないでください。



禁止

直射日光の当たる場所に設置、放置しない

本体内部が高温になり故障の原因となります。



禁止

医療機器や生命に係わる様な機器、社会的、公共的に重要な機器、重要な事業用機器などには、本機を絶対に使用しない

内蔵バッテリーについて



禁止

ACアダプターを製品に接続したままの状態で使用しない

断続的にACアダプターを製品に接続したままの状態では、バッテリーの満充電が繰り返され、過充電状態となる恐れがあります。長期間にわたる連続使用は、過負荷による故障の原因となり、火災や感電の危険があります。ご使用にならない時は必ずACアダプターを抜いて保管してください。



分解禁止

本体内部にはバッテリーが内蔵されています

分解し、水などの液体を入れるのは危険ですので行わないでください

火災、感電、故障の原因になります。

安全上のご注意 必ずお読みください



注意

注意を無視した取扱いをすると、物的損害を被ったり、傷害を負う可能性があります。



禁止

バッテリー残量が空の状態で保管しない

長期間にわたって使用しないなど、バッテリー残量が空の状態で保管すると、バッテリーの自然放電が続くことによる、過放電状態となるおそれがあります。半年に1度は充電してください。購入後、満充電にしてください。ご使用にならない場合でも、約半年を目安に容量が60%～80%になるまで充電してください。



禁止

過充電や過放電はしない

通常は制御回路や保護回路によって過充電や過放電を回避していますが、長期にわたり繰り返されることにより、劣化が促進されます。劣化により充放電量が少なくなったバッテリーは利用時間が少なくなるなど性能が低下します。



禁止

バッテリーは高温環境に弱いので炎天下の車内等の高い温度環境で放置しない

故障や不具合の原因になります。

使用上のお願い

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただきたいこと。

本機の取り扱いについて

- 初めてお使いになる時は、本機を満充電にしてからご使用ください。
- AC出力に接続した機器の消費電力が本機の供給電力を上回った場合、自動的に給電が停止します。AC出力をご使用の場合は、満充電にしてからご使用ください。
- 本機へ接続する一部の機器は使用範囲内でも動作しない、もしくは正常に動作しない場合があります。この場合、その機器のご利用はお控えください。
- 接続機器のケーブルを抜くときは、必ずプラグ部を持って抜いてください。ケーブルを引っ張ったり折り曲げると断線などの原因となります。
- 充電または給電中は本機が温かくなります(故障ではありません)ので、周囲には物を置かないでください。
- 給電する機器の充電制御や充電状況、環境などにより給電できない、または急速充電にならない場合があります。
- 液晶画面を傷つけたり衝撃をあたえないでください。液晶が破損し、故障の原因になります。
- 引っ越しなど、遠くへ運ぶときは、梱包材を使用し振動が伝わらないように、また外観や液晶パネルに傷がつかないようにしてください。
- 殺虫剤、芳香剤や揮発性のものをかけたりしないでください。またゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり、塗装がはげるなどの原因になります。

お手入れについて

- 本体操作ボタン部分のよごれは柔らかな布で軽く拭き取ってください。ベンジン、シンナー、アルコール等の有機溶剤は絶対使用しないでください。変色したり塗装がはげたりする原因になります。
- 液晶画面に付いたよごれなどは、乾いた柔らかな布で拭き取ってください。

結露(露付き)について

結露(露付き)とは、よく冷えた飲料水をコップにそそぐと、コップの表面に水滴がつきます。これを結露(露付き)といいます。同じような現象として、製品内部の部品、部品内部などに水滴がつくことがあります。

- 結露に注意する
 - ・本機をさむいところから、急に暖かいところに移動したとき。
 - ・暖房をつけ始めたばかりの部屋や、エアコンなどの冷風が直接あたる場所に置いたとき
 - ・夏季に冷房のきいた部屋・車内などから急に温度、湿度の高いところに移動したとき
 - ・湯気が立ちこめるなど、湿気の多い部屋に置いたとき
- 結露がおきそうなときは、本機をすぐに停止する
結露がおきた状態で本機を使用すると部品を傷めることがあります。電源を入れずに約2～3時間放置してからご使用ください。

使用上のお願い

お車での使用について

- 誤った電源を使用すると故障やショートの原因になります。必ず付属のシガーソケットアダプターをご使用ください。付属のシガーソケットアダプターは入力電圧DC12V専用品で、⊕アース車では使用できません。電圧DC-DCコンバーター等の電圧変換器などは使用しないでください。
- 真夏・真冬の車内等、過酷な状況下での使用や置き去りは故障の原因となり、非常に危険です。絶対におやめください。
- 自動車のエンジンがスタートおよび再スタート(アイドリングSTOP機能)する際、シガーソケットの電圧降下が発生すると、テレビ本体が誤作動することがありますのでご注意ください。



リチウムイオン電池のリサイクルについて

- 本製品に使用しているリチウムイオン電池はリサイクルできる貴重な資源です。
- 家庭ゴミとして廃棄せずにリサイクルに回してください。
- 廃棄方法につきましては、サポートセンターまでお問い合わせください。
送料はお客様のご負担となりますので、予めご了承ください。

キュリオムサポートセンター



0570-00-9106

月～金 午前10時～午後5時30分

(土・日・祝祭日・年末年始を除く)

※ ナビダイヤルは一部の電話ではご利用になれない場合がございます。

メールでのお問い合わせ：

E-mail : support@qriom.com



YAMAZENBOOK
商品の詳細はこちら

ご使用の前に

接続と操作をおこなう前にこの取扱説明書をよくお読みくださいますようお願いいたします。また、将来の参照用説明書として保存されることをお勧めいたします。

※本書は仕様変更のため、予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

設置の手順

製品構成を確認します。(P8)

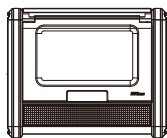
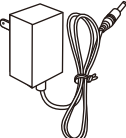
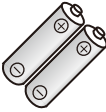
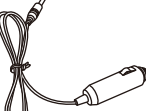
本取扱説明書に書かれている「安全上のご注意」「使用上のお願い」「各部の名称」をよく読みます。
(P2～P7、P9～P14)

準備をおこないます。(P15～P18)

本機の電源をオンにします。(P17)

セット内容

以下がそろっているかを確認してください。不足品がありましたら弊社までお問い合わせください。また、改良のため予告なく製品内容が変更されることもありますのであらかじめご了承ください。

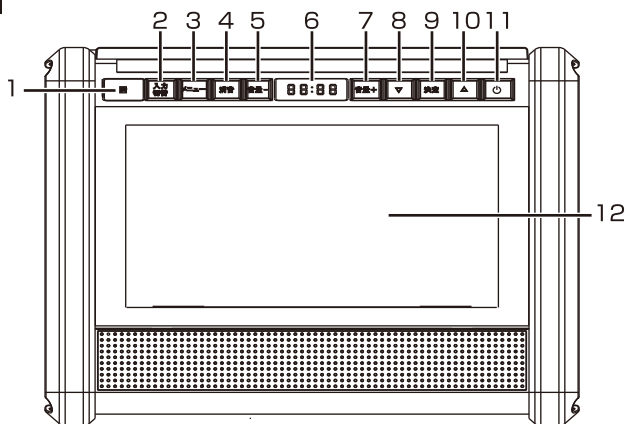
 本体	 リモコン	 ACアダプター	 単四電池2本 (試供品)
 ソーラーパネル 接続ケーブル	 シガーソケット アダプター	 地上デジタル専用 miniB-CASカード	 取扱説明書(保証書付)
 地上デジタル用 ロッドアンテナ	※リモコン付属の電池はテスト用の試供品です。早めに新品と交換してください。 ※シガーソケットアダプターについて ●お車でご使用の際は、安全な場所に停車してからご使用ください。 ●お車と接続する際は、エンジンをかけてから接続してください。 ●当アダプターはDC12Vバッテリー仕様の自動車専用です。 ●当アダプターはマイナスアース車専用です。 ●当アダプターの形状は一般的な車のシガーソケット形状に合わせたものです。 ●車側のソケット部仕様によっては取付けられない場合があります。		

※地上デジタル用ロッドアンテナについて

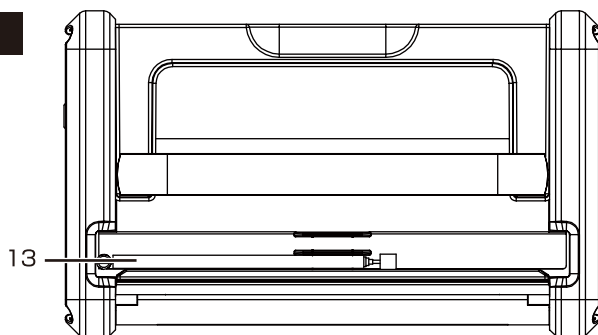
本機付属のアンテナは屋外用の簡易的なアンテナです。ブースター等は非搭載の為、設置場所によっては受信(視聴)できない場合があります。特に初期設定(チャンネル登録など)を行う際はサーチの失敗や登録漏れを防ぐ為、受信感度の高いアンテナと接続して設定を行ってください。

本体各部の名称・機能

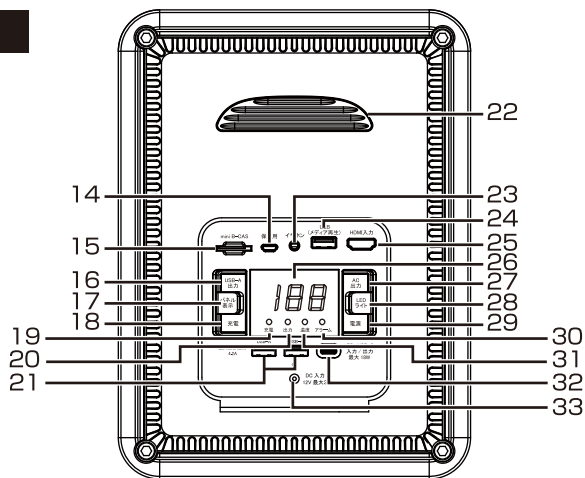
正面図



上面図

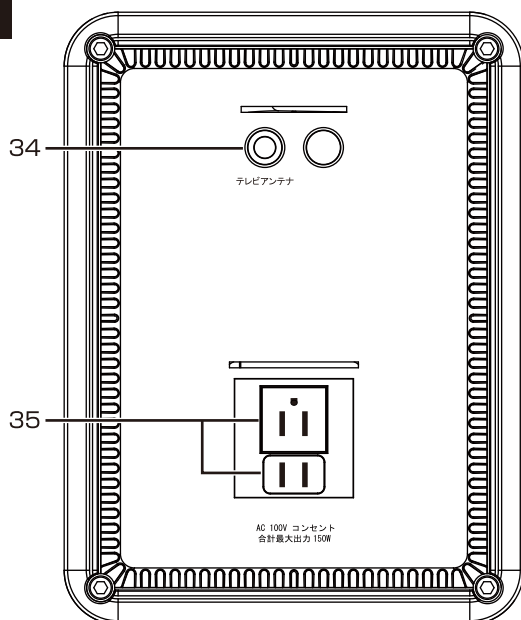


左側側面図



本体各部の名称・機能

右側側面図



- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 1.電源ランプ(リモコン受光部) | 19.充電ランプ |
| 2.入力切替ボタン | 20.出力ランプ |
| 3.メニューボタン | 21.USB-A端子(電源出力) |
| 4.消音ボタン | 22.LEDライト |
| 5.音量-ボタン | 23.イヤホンジャック |
| 6.FMモード動作表示 | 24.USB端子(メディア再生用) |
| 7.音量+ボタン | 25.HDMI入力端子 |
| 8.方向ボタン(下) | 26.電源部表示部 |
| 9.決定ボタン | 27.AC出力ON/OFFボタン |
| 10.方向ボタン(上) | 28.LEDライトON/OFFボタン |
| 11.電源ボタン | 29.電源ON/OFFボタン |
| 12.液晶ディスプレイ | 30.アラームランプ |
| 13.FMアンテナ | 31.温度ランプ |
| 14.保守用端子(使用しません) | 32.USB-C PD端子(電源入出力) |
| 15.mini B-CASカード挿入口 | 33.DC入力端子(電源入力) |
| 16.USB-A出力ボタン | 34.ロッドアンテナ及びTV室内アンテナ接続口 |
| 17.電源部表示ON/OFFボタン | 35.AC機器接続用コンセント |
| 18.充電制御ボタン | |

本体各部の名称・機能

本体各部の機能

No	名 称	表 示	機 能
1	電源ランプ (リモコン受光部)	—	電源の状態をランプで表示します。 リモコンからの操作を受信します。
2	入力切替ボタン	入力切替	各種再生モードへ切替をします。
3	メニューボタン	メニュー	本機の各種メニューを表示します。
4	消音ボタン	消音	音声を消します。もう一度押すと元の音量に戻ります。
5	音量－ボタン	音量－	音量を小さく調整します。
6	FMモード動作表示		FM 動作時に受信周波数等を表示します。
7	音量＋ボタン	音量＋	音量を大きく調整します。
8	方向ボタン(下)	▽	カーソルを下へ移動します。
9	決定ボタン	決定	選択された項目を決定します。
10	方向ボタン(上)	△	カーソルを上へ移動します。
11	電源ボタン		正面操作部を起動します。
12	液晶ディスプレイ	—	映像が出力されます。
13	FM アンテナ	—	FM ラジオを聴くときに使用します。
14	保守用端子	保守用	使用しません。
15	mini B-CAS カード挿入口	mini B-CAS	地上デジタル専用 miniB-CAS カードを挿入します。
16	USB-A 出力ボタン	USB-A 出力	USB 電源を出力します。※出力時緑色点灯。
17	電源部表示 ON/OFF ボタン	パネル表示	電源部の表示を ON/OFF します。
18	充電制御ボタン	充電	AC アダプターが接続されて充電しているとき 緑色点灯：本体に充電しない。 消灯：本体に充電する。
19	充電ランプ表示	充電	バッテリー充電状態時、赤色ランプが点灯します。 バッテリー満充電状態になると消灯します。
20	出力ランプ表示	出力	放電時に緑色ランプが点灯します。
21	USB-A 端子 (電源出力)	USB-A	USB 機器を接続して充電します。

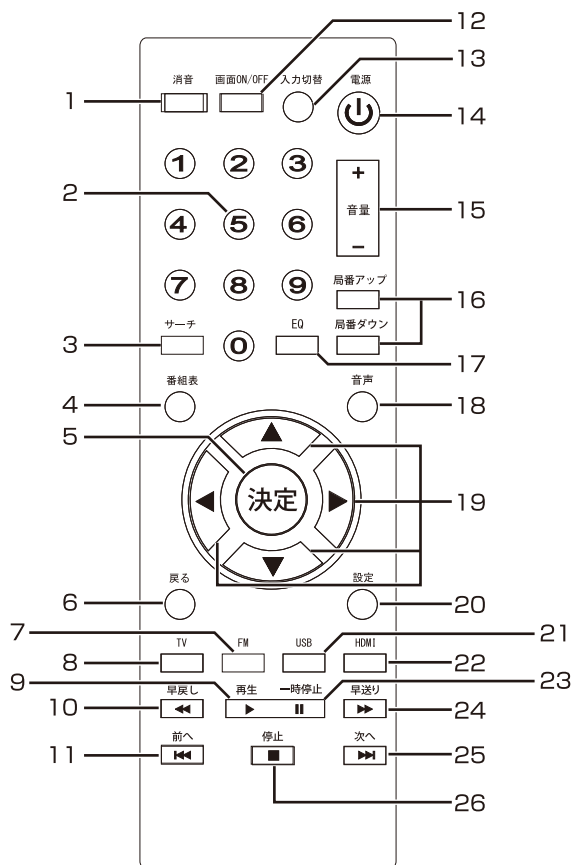
本体各部の名称・機能

本体各部の機能

No	名 称	表 示	機 能
22	LED ライト	—	LED ライトが点灯します。
23	イヤホンジャック	イヤホン	イヤホン（別売・市販品）を接続します。
24	USB 端子 （メディア再生用）	USB 端子 （メディア再生用）	USB に入っている写真、動画、音楽を再生します。
25	HDMI 入力端子	HDMI 入力	HDMI 機器を接続します。
26	電源部表示部	—	バッテリーの容量を表示します。 充電時は 1 桁目が点滅します。
27	AC 出力 ON/OFF ボタン	AC 出力	AC 電源の出力を ON/OFF します。 ※出力時緑色点灯。
28	LED ライト ON/OFF ボタン	LEDライト	LED ライトを ON/OFF します。
29	電源 ON/OFF ボタン	電源	2秒程度長押しすることにより、主電源が ON/OFF します。 ※電源 ON 時緑色点灯
30	アラームランプ表示	アラーム	AC 出力部の異常発生時に赤色ランプが点灯します。
31	温度ランプ表示	温度	セット内部の温度上昇時に、オレンジ色ランプが点灯します。 ※ご注意ください。 オレンジ色ランプが点灯した場合は、セット内の温度が上昇している状態になっています。そのため、できるだけ周囲温度が常温に近い場所で使用してください。
32	USB-C PD 端子 （電源入出力）	PD USB-C 入力 / 出力 最大 18W	本機を急速充電できます。 スマートフォン等を充電できます。 （ケーブルと機器により急速充電が可能です。）
33	DC 入力端子 （電源入力）	DC 入力 12V最大3A	付属の AC アダプターを接続して充電します。
34	ロッドアンテナ及び TV 室内アンテナ接続口	テレビアンテナ	付属のロッドアンテナまたは TV 室内アンテナケーブルを接続します。
35	AC 機器接続用 コンセント	AC100V コンセント 合計最大出力 150W	AC 電源の機器を接続します。 ※接地対応必要機器は上側のアース付側に接続してください。

リモコン各部の名称・機能

リモコン各部の名称



リモコン各部の名称・機能

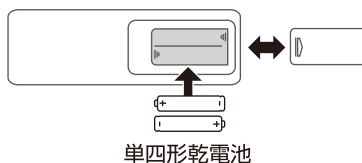
本体各部の機能

No	名 称	表 示	機 能
1	消音ボタン	消音	消音します。
2	数字ボタン	0 ～ 9	数字を入力します。
3	サーチボタン	サーチ	受信できるチャンネルを探索します。
4	番組表ボタン	番組表	番組表を表示します。
5	決定ボタン	決定	設定、選択した項目を実行します。
6	戻るボタン	戻る	前の項目に戻ります。
7	FM 切替ボタン	FM	FM 受信モードに切替えます。
8	TV 切替ボタン	TV	TV 受信モードに切替えます。
9	再生ボタン	再生	再生します。
10	早戻しボタン	早戻し	早戻し再生ができます。
11	前へボタン	前へ	前にスキップします。
12	画面ON/OFFボタン	画面ON/OFF	画面表示の ON/OFF を切替えます。
13	入力切替ボタン	入力切替	入力を切替えます。
14	電源ボタン	電源	正面操作部の電源を ON/OFF します。
15	音量+/-ボタン	音量+-	音量を調節できます。
16	局番ボタン	局番アップ / ダウン	チャンネルを切替えできます。
17	EQ ボタン	EQ	イコライザーを切替えできます。
18	音声ボタン	音声	音声を切り替えます。
19	方向ボタン(▲▼◀▶)	▲▼◀▶	カーソルを上下左右に移動します。
20	設定ボタン	設定	設定メニューを表示します。
21	USB 切替ボタン	USB	USB 再生モードに切替えます。
22	HDMI 切替ボタン	HDMI	HDMI モードに切替えます。
23	一時停止ボタン	一時停止	再生を一時停止します。
24	早送りボタン	早送り	早送り再生ができます。
25	次へボタン	次へ	次にスキップします。
26	停止ボタン	停止	再生を停止します。

リモコン・本体の準備・説明

リモコンの準備

リモコン裏面のカバーを取り外して、単四形乾電池2本を電池収納部の表示どおりに、乾電池の方向を確認して差し込み、カバーを取り付けます。



単四形乾電池

<ご注意ください>

- リモコンを使用する場合は、本体の受光部に向けて操作してください。
- 使用範囲は本体受光部正面から約5m、左右30度以内で使用してください。
※操作可能範囲は使用状況により変わります。
- 本体受光部に直射日光や強い照明が当たった場合、受光部が破損し、受光できなくなる恐れがありますので、ご注意ください。
- リモコンを投げる、落とすなど過度の衝撃を与えないでください。
- リモコンを水に濡らしたり、湿度の高いところでは、使用、保管しないでください。
- 電池を入れ替えたときに、リモコンが正しく動作しないときがあります。このようなときは、電池を一度取り出し、5分以上経ってから再度入れ直してください。
- リモコンを分解、改造、修理しないでください。

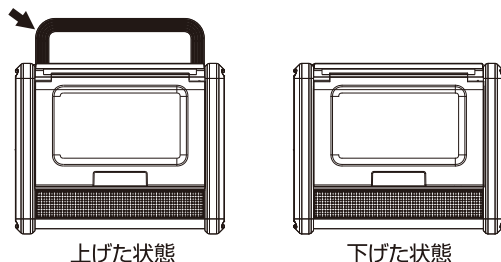
本体の準備

■ご使用前に

本機を満充電にしてください。長期保管する場合は、半年に1度は充電量を確認し、60～80%の充電容量で、高温を避け、涼しい場所で保管してください。

■ハンドルについて

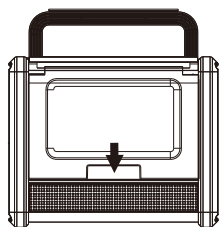
移動、持ち運びの際には、ハンドルを上げてください。収納、使用時には下げて使用してください。



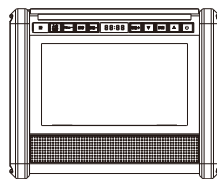
リモコン・本体の準備・説明

■ディスプレイカバー/端子カバー開閉について

- ディスプレイカバーは、液晶パネルや操作部を保護するものです。
本体TV/FM/HDMI/USBを使用する際は、ディスプレイカバーを開いてご使用ください。

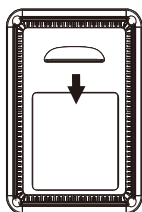


閉じた状態

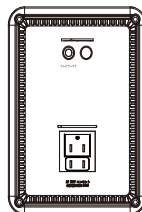
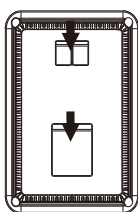


開いた状態

- 側面部の端子、または充電をする際は防水カバーを開いて使用してください。
使用しない時は防水カバーを閉じてください。防水機能は側面の端子カバーを閉じた状態のときに有効となります。



防水カバーを閉じた状態

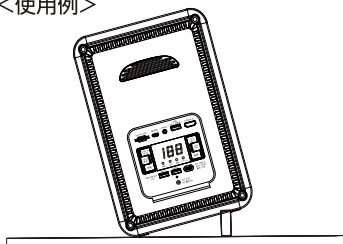


防水カバーを開いた状態

■スタンドについて

本体下部に収納可能なスタンドがあります。設置時に角度を調整し視聴することができます。
平らな場所に設置してください。設置場所が平らではない場合、セットが倒れることがあるのでご注意ください。

<使用例>



<ご注意ください>

本機の防塵・防水規格は保護等級IP44(International Electrotechnical Commission)規格に準ずる本体を水ぶきしたり、雨天、水しぶきがかかる環境下で使用が可能です。水または水没、豪雨時での長時間の放置やお風呂場などではご使用しないでください。

リモコン・本体の準備・説明

本体起動方法

1 本体を起動する

図1

<電源部>

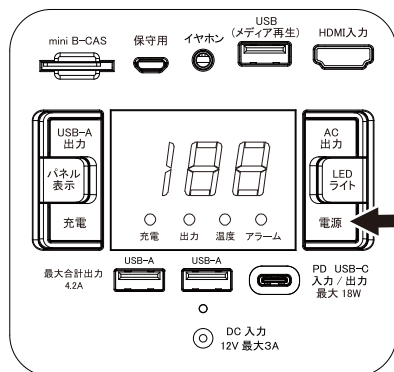
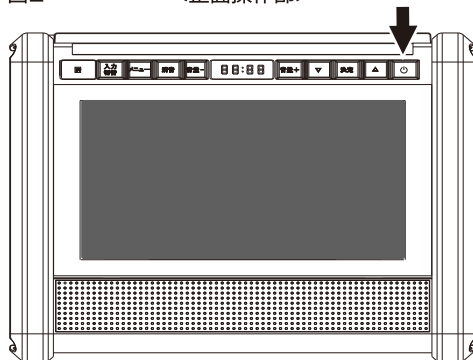


図2

<正面操作部>



①電源部の電源をONする

図1の電源ON/OFFボタンを2秒程度長押ししてください。電源部の表示が点灯します。

その次に図2の電源ボタンを押してください。

メイン画面に「Qriom」が表示され、起動します。本体正面側の電源ランプが緑点灯します。

※電源部の電源がONになっていないと正面操作部の電源を入れることができません。

②電源をOFFする

図2の電源ボタンを押すと画面の表示が消えます。その後、図1の電源ボタンを2秒程度長押ししてください。電源部の表示がOFFになります。

※リモコンの場合、本体が起動しているとき操作ができます。

リモコンを本体の受光部に向けて、リモコンの「電源」ボタンを押すと、本体がスタンバイ状態になり、電源ランプが赤点灯します。

※本体がスタンバイ状態の時、リモコンの「電源」ボタンを再度押すか、正面操作部の「電源」ボタンを押すと、再度起動します。

2 本体を充電する

本体のDC入力に専用ACアダプターを差し込み、ACアダプターをコンセントに差し込みます。充電時は電源部の充電ランプが赤色ランプに点灯します。バッテリー容量が少しずつカウントアップします。充電時は表示の1桁目が点滅します。大容量バッテリー搭載のため、満充電までには約14時間程度かかります。

リモコン・本体の準備・説明

<ご注意ください>

- 本機を持ち運ぶときは、画面の破損を防ぐために画面カバーを閉めてください。
- 画面カバーを開閉するときは、指を挟まないようにしてください。
- しばらく使用しない場合は、電源部の電源をお切りください。
- 表示画面に"C2"(低温)、“C3”(高温)が表示された場合は、常温に近い環境で再度充電してください。低温や高温環境では、バッテリーを保護する目的で動作を制限しています。

電源部を使用する

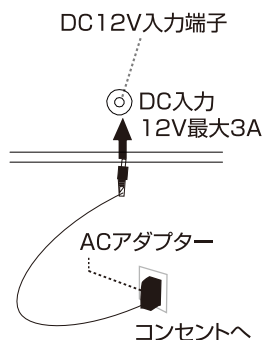
ACアダプターを使用する

■付属品のACアダプターで充電を行います

- ①本体のDC12V入力端子にACアダプターを接続します。
- ②ACアダプターをコンセントに接続します。通電するとDC12V入力端子の上部に、赤色ランプが点灯します。

<ご注意ください>

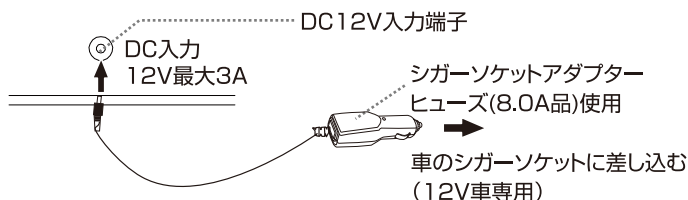
- 付属品以外のACアダプターを使用した場合、故障や破損の原因となります。
- 使用しない時、お手入れや点検を行うときは電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 本体のDC12V入力端子に差したまま過度に衝撃を加えると破損する可能性があります。
- AC出力は、本機充電中も使用可能ですが、消費電力の大きな機器を接続すると充電動作が停止します。充電動作が停止した場合は、AC出力を停止し、充電を優先して下さい。



シガーソケットアダプターを使う

■付属品のシガーソケットアダプターで充電を行います

- ①シガーソケットアダプターを接続します。
- ②シガーソケットアダプターを車のシガーソケットに接続します。



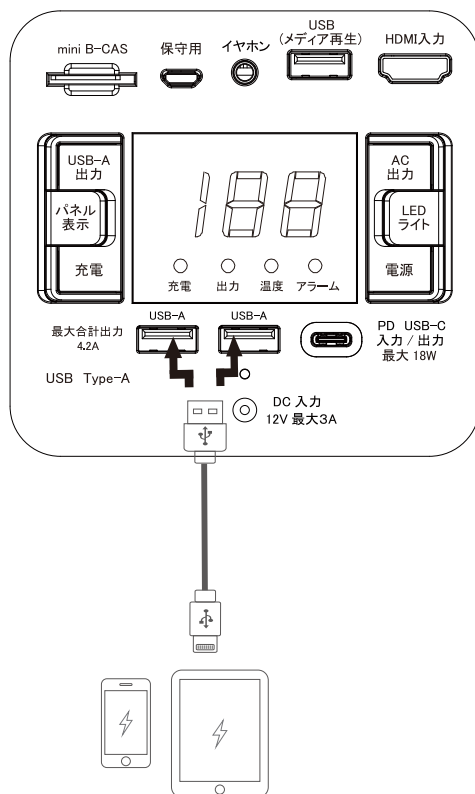
<ご注意ください>

- 本機を運転中に使用しないでください。事故の原因となります。
- 車内に本体やアダプターを放置しないでください。特に高温になると内蔵バッテリーの状態に影響します。
- エンジン始動後に、シガーソケットアダプターを接続してください。
- 本機は24V車には対応していません。故障となりますので12V車でご使用ください。

電源部を使用する

USB-A端子から給電する

- ①市販の充電ケーブルを準備し、本体"USB-A"端子に接続します。
- ②"USB-A"ボタンを押すと緑色に点灯し、"USB-A"端子から給電します。
※2つの"USB-A"端子から、同時に充電することができます。
- ③充電終了後、ボタンをOFFにして本体と充電ケーブルの接続を外します。
- ④供給できる電流は2つのUSBポート合わせて、最大4.2Aです。



<ご注意ください>

- USBを接続するケーブルは付属していません。ご使用になる機器に合わせて準備してください。
- 接続機器の充電が完了したらケーブルを取り外してください。

電源部を使用する

USB-C端子から充電/給電する

1 本機を充電する

本機は急速充電Power Delivery(PD) 18Wに対応しています。

USB Type-Cのケーブルを本機の左側面部にある「USB-C」端子に接続します。

PD対応充電器に接続すると本機の充電が開始します。

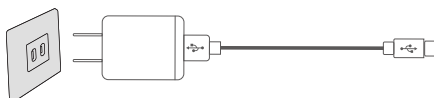
2 スマートフォンやタブレットなどを充電する

USB-C 端子に接続します。

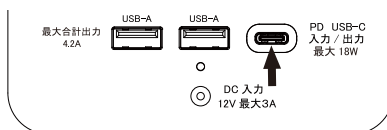
接続した機器への充電が始まります。

使用するケーブルと機器により急速充電が可能です。

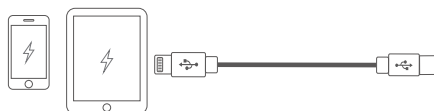
●本機を充電する場合



●ACアダプターからの充電とUSB Type-C 充電を両方接続した場合、ACアダプターからの充電が優先されます。



●スマートフォンやタブレットに充電する場合



<ご注意ください>

- 急速充電を行う場合は、PD対応のType-Cケーブルをご使用ください。
- ACアダプターで本機を充電している場合、USB-C端子にスマートフォンやタブレットを接続しても給電できません。USB-A端子に接続してください。
- USB-C端子からスマホやタブレットへの給電を行っているときに、ACアダプターを接続すると、本機への充電が優先され、USB-C端子からの給電が停止します。
- ACアダプターの接続を外した後、スマートフォン等への給電が開始します。

電源部を使用する

ソーラーパネルから充電する

本機は弊社別売のソーラーパネル(YSP-M60/YSP-M100)と付属のソーラーパネル接続ケーブルを使用して太陽光から充電することが可能です。

使いかた(ソーラーパネルYSP-M60/M100の取扱説明書も参考にしてください)

1 ソーラーパネルを太陽光の入射角に対して受光面が直角に当たるように設置する

スタンドを使用したり、安定した壁や支えになるものにソーラーパネルを寄りかからせて、太陽光がパネル受光面に垂直に当たるように設置します。

＜受光効率を確認する＞

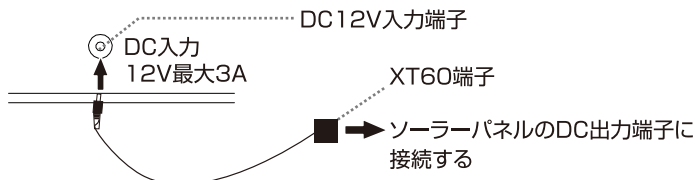
ソーラーパネルの受光面に太陽光が当たると、受光面側のハンドルにある受光効率表示パネルに受光効率がパーセントで表示されます。一番高い数値になるようにパネルの向きや角度を調節してください。

※この表示は受光効率であり発電効率ではありません。

- 太陽光がパネル受光部に垂直に当たるように向きを調節する。
- ガラス越し、左右が仕切られた空間、くもり空などの環境では充電効率が低下するため、屋外・晴天時に使用する。

2 付属ソーラーパネル接続ケーブルで本機とつなぐ

ソーラーパネル側の端子(XT60)と本機側のDCプラグ端子でソーラーパネルと本機を接続します。



3 充電をはじめる

充電がおこなわれているか本機の充電ランプが赤点灯、充電パーセント表示の1桁目が点滅、DC入力端子の上部の赤色ランプが点灯していることを確認してください。

＜お知らせ＞

ソーラーパネル側の端子(XT60)に接続可能なソーラーパネルで、DC出力電圧が本機のDC定格入力電圧を満たすのであれば他社製品も使用可能です。

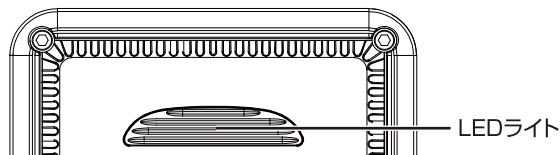
＜ご注意ください＞

ソーラーパネルに付属のケーブルはご使用できませんのでご注意ください。必ず、本機に付属のソーラーパネル接続ケーブルをご使用ください。

電源部を使用する

LEDライトを使う

LEDライトボタンを押すと、本体のLEDライトが点灯します。



本体のコンセントを使用する

- ① 本体を安定した場所に置き、右側面部にコンセント挿入します。
- ② 電源部AC出力ボタンを押すと緑色に点灯して使用できます。(AC100V/50Hz)最大150W
- ③ 使用しないときは、AC出力ボタンをOFFにしてください。



AC100Vコンセント
合計最大出力150W



など

<ご注意ください>

- FMやTV視聴時にコンセントを使用すると受信状況によりノイズが生じることがあります。
- 50Hzでの出力となりますので、60Hz専用の機器はご使用できません。
- 接続される機器の負荷状況により、AC出力時間が変わります。
また、過負荷、過電流、短絡が発生すると、故障の原因になりますのでご注意ください。
- 本体内部の温度調整のため、内蔵FANが作動する場合があります。

テレビを視聴する

テレビを視聴する前に

地上デジタル放送をお楽しみいただくために本機の基本的な使い方やデジタル放送の機能などについてご案内いたします。

■本機で受信できるテレビ放送

本機では、地上デジタル放送とワンセグ放送を受信することが出来ます。

(地上アナログ放送・BS・110度CSデジタル放送を受信することは出来ません。)

屋内での使用時は、各部屋にあるアンテナ線を本機に接続して高画質のデジタル放送、ワンセグ放送のテレビ番組が楽しめます。

■地上デジタル放送の特徴

地上波のUHF放送(13ch～62ch)の周波数帯域を使った放送です。

最新のデジタル技術によりハイビジョン放送(高画質)・多チャンネルのテレビ放送が可能です。

また、音声信号を効率よく圧縮しての放送が可能で、原音に近い高音質な音声が楽しめます。

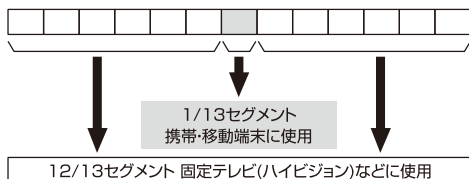
(本機ではデジタル放送の一部サービスに対応していません。)

<ご注意ください>

- 安定した地上デジタル放送を受信するには、地上デジタル放送の受信に対応したUHFアンテナが必要です。
- CATV(ケーブルテレビ)の受信には、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。接続や利用方法は、機器や会社ごとに異なります。ご加入のCATV会社にお問い合わせ下さい。
- 本機は地上デジタル放送の双方向通信サービスには対応していません。
また、本機でペイ・パー・ビュー(PPV)番組を購入する事は出来ません。
- 本機は地上デジタル放送のデータ放送には対応していません。

■ワンセグ放送の特徴

ワンセグは、携帯機器向け地上デジタルテレビ放送です。1チャンネル(6MHz)の帯域を13セグメントに分割し、そのうちの1セグメントを携帯機器向けに利用していることからワンセグと呼ばれています。



- 受信状況：地上アナログ放送よりも安定して電波を受信できる。
- 画質：携帯機器用の放送のため、多少画質が粗くなります。
- 受信地域：広範囲で受信出来るようになりました。

● ワンセグ放送は、2006年4月に開始され、地上デジタルテレビの放送地域拡大により受信可能なエリアが拡大されました。ただし、放送局によってはワンセグが放送されない場合があります。

● ワンセグは、テレビ放送事業者(放送局)などにより提供されるサービスです。

● 「ワンセグ」サービスの詳細および受信可能なエリアについては、下記ホームページなどでご確認ください。

一般社団法人放送サービス高度化推進協会(A-PAB) <https://www.apab.or.jp/chideji/>

テレビを視聴する

miniB-CASカードを入れる

本機に同梱されているminiB-CASカードは地上デジタル放送の受信や「放送局からのお知らせ」の受信などに必要です。miniB-CASカードは常時、本機に挿入しておいてください。

miniB-CASの登録の仕方や取扱いに関する詳細は、カードが貼ってある説明書を確認下さい。説明書は、内容をよく確認のうえ、大切に保管してください。

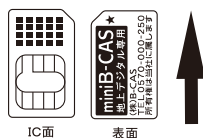
<ご注意ください>

- miniB-CASカードスロットには、miniB-CASカード以外を入れないで下さい。故障や破損の原因になります。
- 使用中にminiB-CASカードを抜き差ししないで下さい。

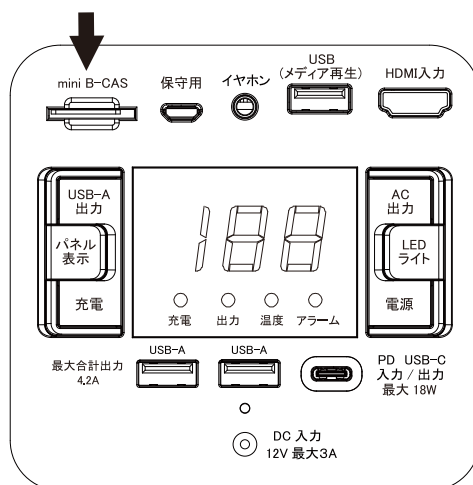
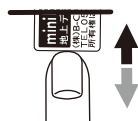
<カード破損・紛失・盗難など>

miniB-CASカードのカード破損・紛失・盗難などの場合、および本機の廃棄などでカードが不要になった場合や登録名義を変更する場合は、株ビエス・コンディショナルアクセスシステムズにご連絡下さい。お問い合わせ先については、カードが貼ってある説明書をご覧ください。

- 本機の電源が切れていることを確認し、miniB-CASカードの表面側を上にして下記の内容で「カチッ」と音がするまで奥へ差し込みます。



- 取り出す時は中央部を一旦押し込み、出た端をつまんでゆっくり抜きます。

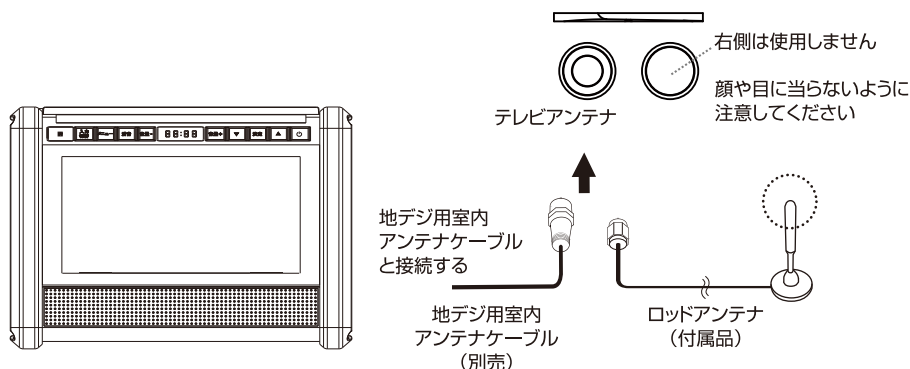


テレビを視聴する

TV受信アンテナを準備する

テレビ放送を視聴するときは、mini B-CASカードを本機に差し込み後、アンテナを以下の内容で準備します。

付属のロッドアンテナ、もしくは室内アンテナを使用する際は、右側の上の防水カバーを開いて、テレビアンテナ端子へアンテナを接続します。



<ご注意ください>

テレビアンテナが本機に正しく接続されていない場合、画面に「受信レベルが低下しました外部のテレビアンテナを接続してください。」と表示されますので、テレビアンテナの接続を確認してください。

<お知らせ>

- 地域・場所によっては受信状態が悪くなったり、全く受信できなくなる場合があります。
- アンテナ線を他のデジタル機器に近づけないでください。受信障害の原因となる事があります。
- 地上デジタル放送は一般的にUHFアンテナで受信しますが、CATV(ケーブルテレビ)で伝送される場合や共聴で伝送される場合もあります。詳しくは共聴システム管理者(マンション管理者や管理組合など)や、お住まいの地域のケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

テレビを視聴する

接続とチャンネル受信

本機を使用する場合は以下の接続とチャンネル受信を行う必要があります。

! チャンネル設定の前に以下の項目をご確認ください。

- ①電源プラグが正しく接続されていること ②アンテナ線が正しく接続されていること
- ③mini-B-CASカードが正しく挿入されていること

! 本機に同梱されているロッドアンテナは屋外用の簡易アンテナです。チャンネル受信局数の登録漏れなどを防ぐため、特に初回時のチャンネル登録設定の作業を行う際は室内用アンテナとの接続の上、設定・登録することをお勧めします。(本機とアンテナとの接続方法はP26をご参照ください)

Loading

電源を入れるとシステム起動中(左図)の表示後、チャンネル自動検索の開始となります。
チャンネル自動検索の開始後、サーチ終了までお待ちください。

チャンネルサーチ中
509.143 MHz
CH:0

チャンネル受信成功/登録中

※本機と接続したアンテナが電波を受信すると、下図のようにフルセグ/ワンセグの項目にチャンネルが登録されていきます。

番組登録が失敗した場合

サービスなし

- ※ 設定電波を受信できずにチャンネル登録が失敗した場合、「サービスなし」の表示になります。下記をご確認の上、リモコンの決定ボタンを押して再度チャンネルサーチを行なってください。
- ※ 本機に正しくmini B-CASカードが挿入されていますか？
- ※ 本機と接続しているアンテナが正しく接続されていますか？
- ※ アンテナ設置位置などをご確認ください。

本機に番組が登録された場合



- ※ チャンネルサーチ終了後、番組の登録が成功すると、登録された番組が表示されます。電波の受信レベルに応じてフルセグ放送及びワンセグ放送のいずれかが表示されます。

<お知らせ>

- 受信環境が悪かったり、サーチ中に移動したりすると信号を受信出来ない場合があります。
- 遠隔地への移動を行ったり、受信環境の変化でスムーズに受信できない場合は再度受信環境の良い場所で「チャンネルサーチ」を行ってください。

テレビを視聴する

基本的な使い方

地デジ放送を選ぶ

- 他モードから地デジ放送に切り替える時は、本体またはリモコンの「入力切替」ボタンを押し、入力ソース「TV」を選択後、リモコンの「決定」ボタンを押します。
リモコンの「FM」「USB」「HDMI」ボタンで各モードへ切替をすることができます。
※「機能切換」: <TV>▲▼<HDMI>▲▼<USB>▲▼<FM>

視聴チャンネルを選局する

- リモコンの「局番アップ／ダウン」ボタンまたは本体の「方向」ボタンを押すとサーチで登録されたチャンネル番号順に、チャンネルが切り替わります。
リモコンの「数字」ボタンを押すと指定したチャンネル(主番号)に切り替わります。
番組視聴中にリモコンの「決定」ボタンを押すとチャンネルサーチ時に登録された全てのチャンネルのリストが表示されます。(チャンネルリスト表示)
「▲」「▼」で視聴したいチャンネルを選択し「決定」を押すと選択した番組に切り替わります。
※チャンネルリスト表示時に「◀」「▶」でフルセグ/ワンセグ放送の選択ができます。
- リモコンの「番組表」ボタンで現在表示しているチャンネルの番組表を確認することができます。
- 設定メニューの番組情報を選択すると現在表示しているチャンネルの詳細を確認することができます。

音量を調節する／消す（消音機能）

- 調節する: リモコンまたは本体の「音量+」「音量-」ボタンで音量を調節します。
- 消音する: リモコンまたは本体の「消音」ボタンを押すと消音状態に切り替わります。
消音状態で同ボタンを押すと消音状態が解除されて音が出ます。

その他

- 画面ON/OFFボタン操作: 画面を消します。もう一度押すと元に戻ります。
- EQボタン操作: 音声イコライザを選択することが可能です。

<ご注意ください>

操作を立て続けに行なうと、誤作動したりフリーズする場合があります。
その場合は一度、本体電源をOFFにして再起動してください。

<設定しても放送が正しく映らない場合>

初期設定を終えるとチャンネルサーチで登録されたテレビ番組が表示されます。
「テレビ番組が全く表示されない」「画面が乱れる」などの症状が出た場合は、地デジ放送の受信方法やアンテナの設置方法などに問題がある場合があります。以下の点についてご確認ください。

テレビを視聴する

＜デジタル放送の受信方法の確認＞ 放送チャンネルが登録されない...

■屋外アンテナの場合:

アンテナが地上デジタル放送受信対応のUHFアンテナ、またはVHF/UHF混合アンテナであるかどうかをご確認ください。(詳しくはお近くの電気店やアンテナ設置業者などにご相談ください。)

■ケーブルテレビの場合:

地上デジタル放送を視聴するために、ケーブルテレビ放送(CATV)やマンションなどの共聴システムをご利用の場合は、パススルー方式での地デジ放送受信に対応しているか、ご契約のCATV会社や共聴システムの管理者にご確認ください。

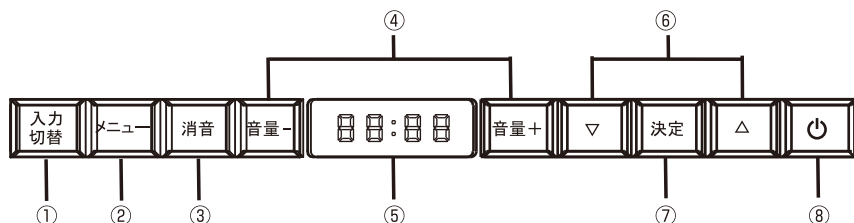
■付属ロッドアンテナ

付属ロッドアンテナの接続が奥まで正しく接続されていることを確認してください。またできるだけ電波が良好な場所で受信してください。

本体ボタン操作について

本体ボタン操作

- ①入力切替ボタン : 各モードからTVモードへ移行します。
- ②メニューボタン : TVに関するメニューが表示されます。
※詳しくはP.31～32を参照ください。
- ③消音ボタン : 音声を消します。
- ④音量+/-ボタン : 音量を調整します。
- ⑤FMモード動作表示 : TVモードでは表示しません。
- ⑥方向ボタン(上)(下) : サーチで登録されたチャンネル番号順に、チャンネルが切り替わります。
- ⑦決定ボタン : チャンネルサーチ時に登録された全てのチャンネルのリストが表示されます。
- ⑧電源ボタン : 電源ON/OFF操作を行うことが可能です。



テレビを視聴する

リモコンによる操作

●消音ボタン

音声を消します。

消音



●画面ON/OFFボタン

画面を消します。もう一度押すと元に戻ります。

画面ON/OFF



●入力切替ボタン

各モードへ移行します。

入力切替



●数字ボタン

TV視聴したいチャンネルをダイレクトに選択します。

① ② ③
④ ⑤ ⑥
⑦ ⑧ ⑨
⑩

●局番アップ／ダウン

サーチで登録されたチャンネル番号順に、チャンネルが切り替わります。

局番アップ



局番ダウン



●サーチボタン

登録できるチャンネルサーチを行います。

サーチ



●音量＋／－ボタン

音量を調整します。



●USB切替ボタン

USBモードに移行します。

USB



●HDMI切替ボタン

HDMIモードに移行します。

HDMI1



●十字ボタン/決定ボタン

サーチで登録されたチャンネル番号順にチャンネルが切り替わります。
決定ボタン→チャンネルリストを表示します。



●EQボタン

音声イコライザを選択することが可能です。

EQ



●番組表ボタン

現在表示しているチャンネルの番組表を確認することができます。

番組表



●戻るボタン

1つ前に戻ります。

戻る



●設定ボタン

TVに関するメニューが表示されます。

設定



※詳しくはP.31～33を参照ください。

●FM切替ボタン

FMモードに移行します。

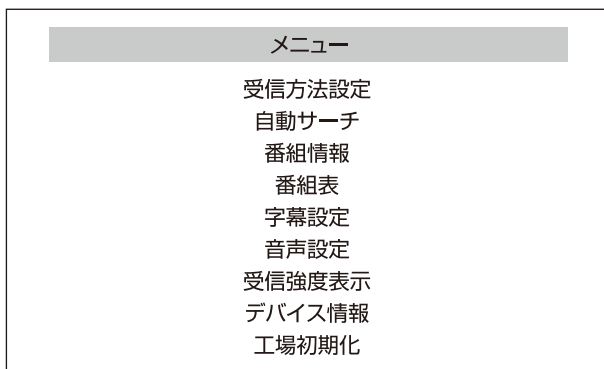
FM



テレビを視聴する

TV設定をする

「設定」ボタンを押すとTVに関する設定のメニューが表示されます。



①受信方法設定

本機にはフルセグ放送とワンセグ放送を自動的に切替える機能があります。特にフルセグ放送の受信レベルが低い場所では、フルセグ受信とワンセグ受信に頻繁に切り替わります。

このような場合は設定メニューから受信切替を行い、ワンセグ受信に固定することができます。

- フルセグ：フルセグ受信に固定されます。受信状況が良い場合、フルセグ受信が可能です。
- ワンセグ：ワンセグ受信に固定されます。受信状況が悪い場合、この設定をお勧めします。
- 自動：受信状況により、フルセグ/ワンセグの受信切り換えを自動で行います。
※表示画面と受信状態を確認しながら、この設定を選択してください。

②チャンネルサーチ

▲▼上下ボタンで、「自動サーチ」を選択しOK(決定)ボタンで設定します。

③番組情報

▲▼上下ボタンで「番組情報」を選択しOK(決定)ボタンで設定します。

テレビ視聴中に「番組情報」を押すと、見ている視聴中の番組情報が表示されます。

テレビを視聴する

④番組表

▲▼上下ボタンで「番組表」を選択しOK(決定)ボタンで設定します。
テレビ視聴中に「番組表」を押すと、見ているチャンネルの番組表を表示します。

⑤字幕設定

▲▼上下ボタンで「字幕設定」を選択しOK(決定)ボタンで設定します。
字幕がある番組の場合に、字幕の表示/非表示を切り替えます。

⑥音声設定

▲▼上下ボタンで「音声設定」を選択しOK(決定)ボタンで設定します。
音声多重放送の場合に、音声を切り替えます。

- 主音声
- 副音声
- 主+副音声

<ご注意ください>

放送されている音声に合わせて設定してください。

正確に設定されていない場合、音声が出力されない場合があります。

⑦受信強度表示

▲▼上下ボタンで「受信強度表示」を選択しOK(決定)ボタン押すと受信強度が表示されます。設定ボタンを押すと表示は消えます。

⑧デバイス情報

▲▼TVデバイスの情報を表示します。

⑨TV設定を初期化する

▲▼上下ボタンで「工場初期化」を選択しOK(決定)ボタンで設定すると初期化画面が表示されTVに関する設定を初期化することができます。

FMラジオを聴く

FMラジオを聴く前に

FMラジオを聴く前に最初に受信可能なFM放送をサーチして、本機に登録を行います。
アンテナを伸ばし、できるだけよく聞こえる方向に向けてください。

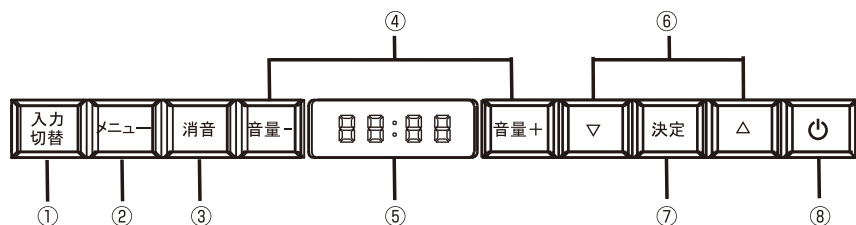
<ご注意ください>

- FMアンテナを取り扱う場合は無理に曲げたり、収納しないでください。アンテナが破損する可能性があります。
- 近くに置いているテレビの画面に影響したり、本機のラジオにテレビやパソコンからの雑音が入る場合は本機をテレビやパソコンから離してご使用ください。
- 保管や持ち運びの時はアンテナを本体に収納してください。FMアンテナを伸ばした状態で持ち運び、アンテナに負荷が掛かると故障の原因となります。
- ビルの谷間、鉄筋住宅などはFM電波受信レベルに影響が出ますのでご注意ください。

本体ボタン操作について

本体ボタン操作

- ①入力切替ボタン : ボタンを押すとモード切替ができます。FMモード時に本ボタンを押すとメイン画面にQriomが表示され、前のモードに移行します。
- ②メニューボタン : 自動サーチを行います。中央の表示が変化し、サーチを行います。
- ③消音ボタン : 音声を消します。
- ④音量+/-ボタン : 音量を調整します。
- ⑤FMモード動作表示 : 現在放送している周波数を表示します。
- ⑥方向ボタン(上)(下) : ▲選局アップ、▼選局ダウン
- ⑦決定ボタン : 方向ボタンを押して、手動で ± 0.1 MHz毎に、▲▼キーを用いて周波数を調整することができます。
- ⑧電源ボタン : 電源ON/OFF操作を行うことが可能です。



FMラジオを聴く

リモコンによる操作

●消音ボタン

音声を消します。



●入力切替ボタン

モード切替ができます。

FMモード時に本ボタンを押すとメイン画面にQriomが表示され、前のモードに移行します。



●十字ボタン/決定ボタン

サーチしたチャンネルの選局をします。▲▼を押すと登録されたチャンネルを1つずつ移動します。



●サーチボタン

自動サーチを行います。



●数字ボタン

登録されているチャンネルをダイレクトに選択します。



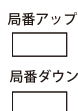
●音量+/-ボタン

音量を調整します。



●選局UP/DOWN

登録チャンネルの選局をします。



●USB切替ボタン

USBモードに移行します。



●HDMI切替ボタン

HDMIモードに移行します。



●TV切替ボタン

TVモードに移行します。



ワイドFM対応

本機対応周波数は、超短波放送の周波数帯域「76.0～99.0MHz」になっております。
日本国内に置いて、電波法並びに放送送法の規定により超短波放送を行っている日本のラジオ放送局(いわゆるFMラジオ局)に対応し、「ワイドFM」にも対応しています。

FMラジオを聴く

操作及び表示

FMラジオ起動

「入力切替」ボタン及びリモコンの「FM」ボタンで、FMラジオモードに移行します。
本体のFMラジオ表示に現在の周波数が表示されます。

76:00

- ①初期状態及び選局できなかった場合、「76:00」が表示されます。
- ②次のFMラジオ起動時は、前回受信していた放送局が選局されます。

<ご注意ください>

- FMラジオモードに移行すると本体の画面が暗くなります。これは、本機的设计仕様であり故障ではありません。
- 本体アンテナでFM放送を受信しますので、本体アンテナを伸ばしてできるだけ電波環境の良い場所でご使用ください。

放送局のサーチ

本体の「メニュー」ボタン及びリモコンの「サーチ」ボタンでFMラジオ局を自動サーチし、局番振り付けし保存します。

- ①周波数76:00MHz～99:00MHzまで0.1MHzずつサーチして行きます。
- ②受信可能周波数は順番に局番登録されます。

「CH01」->「CH02」……

CH 01

- ③局番登録後、FM放送を受信します。
最初に登録されたFM放送局が選定され、その周波数を表示します。

局番選択

本体の「方向」ボタン及びリモコンの「局番アップと局番ダウン」ボタンを操作することによって、選局できます。以下一例ですので、ご参照ください。

局番アップ

局番 CH 01 から CH 02 にアップ

局番ダウン

局番 CH 03 から CH 02 にダウン

FMラジオを聴く

リモコンの「数字」ボタンを押すと、ダイレクトに局番を選択できます。

例:数字ボタン「2」の場合(局番2が周波数80:00MHz時)

02 から 80:00 を表示します。

周波数手動調整

本体の場合、「決定」ボタンを押し、「方向」ボタンで周波数を0.1 MHzごとに調整が可能です。

以下一例として、ご参照ください。手動調整の場合は表示が点滅します。

再度「決定」ボタンを押すと、周波数手動調整モードが解除します。

周波数アップ

周波数 78:00 から 78: 10 にアップ

周波数ダウン

周波数 78:20 から 78: 10 にダウン

※システムの関係上最下位桁の表示は常に"0"を表示しています。

音量調整

本体及びリモコンの「音量アップと音量ダウン」ボタンで、音量の調整を行うことが可能です。

U 15 例 現在設定音量「U 15」のように表示されます。
調整範囲「0～20」です

本体及びリモコンの「消音」ボタンの操作でラジオの音を消します。もう一回押すと出力されます。

スタンバイ(待機)

リモコンの「電源」ボタンで、スタンバイ状態に移行することが可能です。

緊急警報放送の設定

設定画面の警報設定から緊急警報放送の設定をおこないます。リモコンの設定ボタン、または本体のメニューボタンを押すと下記画面が表示され設定が可能となります。

TVモード、FMモードでおこなう場合は、リモコン、または本体の入力切替ボタンを押して、入力切替画面を表示させている時に、リモコンの設定ボタン、または本体のメニューボタンを押すと下記画面を表示することができます。

地域のNHK-FM放送の緊急警報信号を検知してアラートを出します。

※本体左側面の電源部の電源は常時ONの状態にしてください。

設定画面

画面設定	緊急警報放送 オン	
音声設定	周波数	82.5MHz
基本設定	音量設定	20
警報設定	ライト動作	点滅

選択 (▲▼) メニュー (⏏) 調整 (◀▶)

■警報設定

緊急警報放送 (オン/オフ)

周波数 (76.1MHz~98.9MHz)

※NHK-FM局を選択してください。

音量設定 (1/5/10/15/20)

ライト動作 (点滅/消灯)

●緊急警報放送を受信したときは以下の動作になります。

・LEDライトが点滅

・設定された音量で緊急警報放送が鳴る

緊急警報放送の設定がオンになると、FMモード動作表示に防災アイコンが表示されます。



外部メモリーを再生する

USBメモリーの再生

USBメモリー端子にUSBメモリーを接続し、入力切替ボタンにてUSBを選択します

■再生可能なファイル形式

- 静止画(拡張子) : JPEG(jpg)/BMP(.bmp)
- 音楽(拡張子) : MP3(mp3)/WMA(.wma)/WAV(.wav)/AAC(.m4a/.aacなど)
- 動画(拡張子) : MP4(mp4)/MPEG-PS(.mpeg.mpg)/WMV(.wmv)/3GP(.3gp)

⚠ 注意

- ※上記ファイル形式でも高画質(高解像度)データや圧縮率・コーデックの不一致などで映像が出ない/再生音出力されない/読み込みできないなどが起こる場合があります。
- ※記録された順序で再生されない場合があります。また記録状況により音飛びや読み込まない場合があります。
- 本機と接続して使用される外部メモリーのファイルシステム形式にご注意ください。
- ※本機で使用可能な外部メモリー(USB)は<FAT32形式>でフォーマットされたメモリー<FAT16形式>や<exFAT形式>のメモリーは使用できません。
- ※外部メディア(USBメモリーやHDDなど)はメーカーや型式などによっては認識されない場合があります。
- ※外部メディアについての動作保証やサポートは行っておりません。予めご了承ください。

メモリー内のデータを再生する

1 本機のUSB端子にUSBメモリーを接続します

右図の矢印の箇所にUSBメモリーを接続してください。

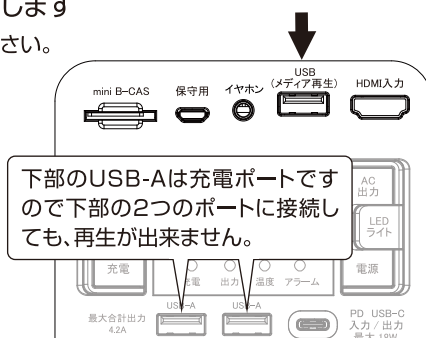
2 本体またはリモコン「入力切替」でモードを切り替えます

3 USBモードに画面を切り替えた後、「◀」「▶」で再生したい項目に移動して「決定」を押します

写真 : 静止画ファイル再生

動画 : 動画ファイル再生

音楽 : 音楽ファイル再生



4 再生する項目を選択後「決定」を押すとデバイス項目に移動します

(*選択項目:一つ前へ/[C])[C]を選択して「決定」を押すと読み可能なデータ(またはフォルダ)が表示されます。

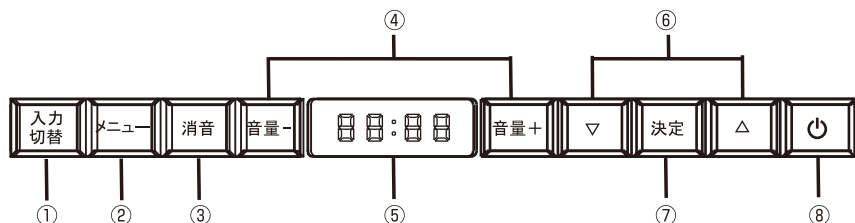
5 再生したいデータにカーソルを移動するとプレビュー画面でデータが再生されます。「決定」を押すと画面が切り替わり、再生がスタートします

※再生を停止する場合は「停止(■)」ボタンを押してください。

外部メモリーを再生する

USBメモリーボタン操作

本体ボタン操作



- ①入力切替ボタン : ボタンを押すとモード切替ができます。
- ②メニューボタン : 本体各種設定のメニューが表示されます。
※詳しくはP.43～44をご参照ください。
- ③消音ボタン : 音声を消します。
- ④音量+/-ボタン : 音量+, 右にカーソルを移動します。音量-, 左にカーソルを移動します。
- ⑤FMモード動作表示 : USBモードでは使用しません。
- ⑥方向ボタン(上)(下) : ▼下にカーソルを移動します。▲上にカーソルを移動します
- ⑦決定ボタン : 項目を決定する時に使用します。
- ⑧電源ボタン : 電源ON/OFF操作を行うことが可能です。

外部メモリーを再生する

リモコンによる操作

●消音ボタン

音声を消します。

消音



●画面ON/OFFボタン

画面を消します。もう一度押すと元に戻ります。

画面ON/OFF



●入力切替ボタン

各モードへ移行します。

入力切替



●音量+/-ボタン

音量を調整します。



●HDMI切替ボタン

HDMIモードに移行します。

HDMI



●FM切替ボタン

FMモードに移行します。

FM



●TV切替ボタン

TVモードに移行します。

TV



●前へボタン

前のチャプターやトラックへ移動します。

前へ



●次へボタン

次のチャプターやトラックへ移動します。

次へ



●十字ボタン/決定ボタン

▲▼◀▶:上下左右にカーソルを移動します。

決定ボタン:項目を決定する時に使用します。



●設定ボタン

本体設定に関するメニューが表示されます。

※詳しくはP.43～44を参照ください。

設定



●早戻しボタン

音声、動画を早戻し再生します。

早戻し



●再生ボタン

選択したファイルを再生します。

再生



●一時停止ボタン

選択したファイルを一時停止します。

一時停止



●早送りボタン

音声、動画を早送り再生します。

早送り



●停止ボタン

再生を停止します。

停止



外部メモリーを再生する

データ再生時の操作 <操作バー>

各ファイルを再生中にリモコンの「決定ボタン」を押すと下記のメニュー操作を行うことが可能です。

<静止画ファイル再生>



▶(II) 再生 / 一時停止

◀◀ 前のデータへ移動 (=【前へ】)

▶▶ 次のデータへ移動 (=【次へ】)

■ 再生停止 (=【停止】)

○ リピート再生設定 (=【リピート】)

※<オフ>: 無→<オン>: 1 ファイルリピート→<オール>: 全ファイルリピート

Ⓢ ランダム再生設定 (=【ランダム】)

🎵 音楽設定 ※メモリー内に音楽ファイルがある場合、背景音楽の有無を選択

📄 プレイリスト: 静止画(画像)ファイルとして認識したファイルをリスト表示

ℹ インフォメーション: 再生中データの情報表示

🔄 右回転: 画像を 90、180、270 度右へ回転

🔄 左回転: 画像を 90、180、270 度左へ回転

🔍 拡大ズーム: 最大 8 倍拡大表示

🔍 縮小ズーム: 最小 1/4 倍縮小表示

📏 ※Move View (※本機では使いません)

⚙ 画面表示切替: 【決定】を押すことに切り替わり変更

※標準 / ランダム / ブロック / 対角 / ワイプ / スライド / フェード

<音楽ファイル再生>



▶(II) 再生 / 一時停止

◀◀ 早戻し (=【早戻し】) ※再生 / ×2 / ×4 / ×8 / ×16

▶▶ 早送り (=【早送り】) ※再生 / ×2 / ×4 / ×8 / ×16

◀◀ 前のデータへ移動 (=【前に】)

▶▶ 次のデータへ移動 (=【次へ】)

■ 再生停止 (=【停止】)

○ リピート再生設定 (=【リピート】)

※<オフ>: 無→<オン>: 1 ファイルリピート→<オール>: 全ファイルリピート

Ⓐ AtoB リピート: セット地点 A から地点 B までの間をリピート再生させる設定機能

※セットなし→【決定】: A 地点セット→【決定】: B 地点セット & リピート設定→セットなし

Ⓢ ランダム再生設定 (=【ランダム】)

🔇 消音ミュート設定 (=【消音】)

📄 プレイリスト: 音楽ファイルとして認識したファイルをリスト表示

ℹ インフォメーション: 再生中データの情報表示

🕒 検索時間入力設定: データの再生スタート時間を設定

外部メモリーを再生する

<動画ファイル再生>



▶(II) 再生 / 一時停止

- ◀◀ 早戻し (=【早戻し】) ※再生 / $\times 2 / \times 4 / \times 8 / \times 16 / \times 32$ ↵
- ▶▶ 早送り (=【早送り】) ※再生 / $\times 2 / \times 4 / \times 8 / \times 16 / \times 32$ ↵
- ◀◀ 前のデータへ移動 (=【前に】)
- ▶▶ 次のデータへ移動 (=【次へ】)
- 再生停止 (=【停止】)
- 再生設定 (=【リピート】)
 - ※<オフ>: 無→<オン>: 1 ファイルリピート→<オール>: 全ファイルリピート
- Ⓜ ランダム再生設定 (=【ランダム】)
- Ⓐ AtoB リピート: セット地点 A から地点 B までの間をリピート再生させる設定機能
セットなし→【決定】: A 地点セット→【決定】: B 地点セット & リピート設定→セットなし ↵
- ☰ プレイリスト: 動画ファイルとして認識したファイルをリスト表示
- ℹ インフォメーション: 再生中データの情報
- ▶ スロー再生: 【決定】を押すごとにスロー再生 & 倍速切換え ※再生 / $\times 2 / \times 4 / \times 8 / \times 16$ ↵
- ▶▶ ステップ再生: 【決定】を押すごとにコマ送り再生
- 🕒 検索時間入力設定: データの再生スタート時間を設定
- ⚙ 画面表示サイズ切替 【決定】を押すごとに表示サイズ変更
 - ※自動 / 16:9 / 4:3 ↵

本体各種設定

リモコンの「設定」ボタン、または本体の「メニュー」ボタンを押すと下記画面が表示され各種設定が可能です。TVモードで行う場合は、入力切替ボタンにて、入力切替画面を表示させている時にリモコンの「設定」ボタン、または本体の「メニュー」ボタンを押すと、本設定画面を表示することが出来ます。▲▼上下ボタンで「画面設定」「音声設定」「基本設定」「警報設定」を選択し各種設定を行います。

設定画面

画面設定	映像モード	標準
音声設定	コントラスト比	70
基本設定	明るさ	65
警報設定	色彩	95
	シャープネス	60
	色温	ウォーム
	画面サイズ	16:9
選択 (▲▼) メニュー (↶) 調整 (◀▶)		

■画面設定

映像モード(標準/ソフト/ユーザー/ダイナミック)
 コントラスト比(0~100)
 明るさ(0~100)
 色彩(0~100)
 シャープネス(0~100)
 色温(標準/ウォーム/ユーザー/クール色)
 画面サイズ(16:9/自動/4:3)

画面設定	音声設定	標準
音声設定	高音	65
基本設定	低音	80
警報設定	バランス	0
	自動音量	オフ
	サラウンドサウンド	オフ
選択 (▲▼) メニュー (↶) 調整 (◀▶)		

■音声設定

音声設定(標準/音楽/動画/スポーツ/ユーザー)
 高音(0~100)
 低音(0~100)
 バランス(-50~+50)
 自動音量(オフ/オン)
 サラウンドサウンド(オフ/SRSサラウンド/サラウンド)

画面設定	工場初期化	オフ
音声設定	メニュー表示	オフ
基本設定		
警報設定		
選択 (▲▼) メニュー (↶) 調整 (◀▶)		

■基本設定

工場初期化(はい/いいえ)
 ※全ての設定がご購入時の状態に戻ります。
 メニュー表示時間
 (オフ/5秒/10秒/15秒/20秒/25秒/30秒)

画面設定	緊急警報放送	オン
音声設定	周波数	82.5MHz
基本設定	音量設定	20
警報設定	ライト動作	点滅
選択 (▲▼) メニュー (↶) 調整 (◀▶)		

■警報設定

緊急警報放送 (オン/オフ)
 周波数 (76.1MHz~98.9MHz)
 ※NHK FM局を選択してください。
 音量設定 (1/5/10/15/20)
 ライト動作 (点滅/消灯)

本体各種設定

- ※1 周波数は、近隣のNHKの周波数、または受信可能な緊急警報放送のサービスを提供しているFM局に設定して下さい。
- ※2 NHKでは、災害発生時に備え全国の放送局を通じて、毎月1日正午(1月のみ4日正午)の前に動作試験のための試験放送を行っています。(放送時間は変更になる場合があります)。試験放送を利用して、機器が正常に動作するか、予めご確認ください。

<ご注意ください>

- 各種項目に対して水色のカーソルがある項目が選択されている項目です。
設定項目を確定する場合は決定ボタンを押してください。
- TVモード、FMモード時は、入力切替ボタンを押して本体の場合はメニューボタン、リモコンの場合は設定ボタンを押してください。本体設定画面が表示されます。

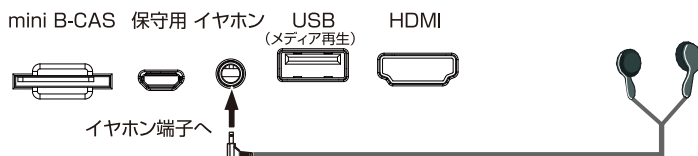
外部端子

イヤホン(別売)を使用する

接続方法

ミニピンプラグのイヤホンやヘッドホンに対応します。

イヤホンジャックに差し込むと本体スピーカーからの出力が消音となります。

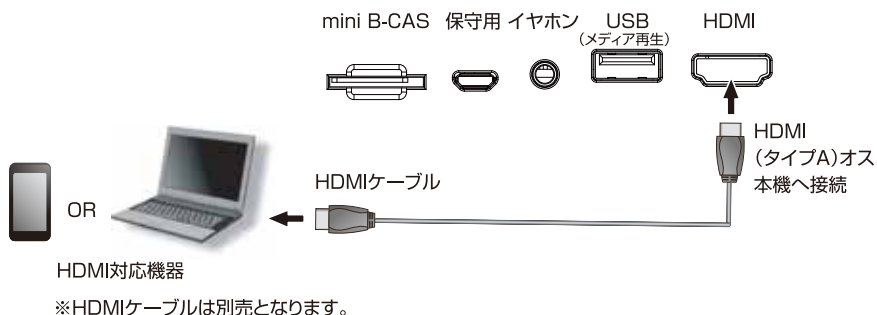


<ご注意ください>

- お使いになる前に音量を最小にし、徐々にお好みの音量に調整してください。
- また大音量で長時間使用すると聴力に影響を及ぼす恐れがあります。

HDMI機器を接続する

- ① 本体またはリモコンの「入力切替」ボタンにて「HDMI」を選択し、決定ボタンを押します。
- ② 本機の左側面のHDMI入力に、他機のHDMI出力に接続することで、スマートフォンや他機器の映像と音声を再生することが可能です。



接続をする機器によりコネクタの形状が異なりますので接続する機器に合わせて、HDMIケーブルや変換アダプタを準備してください。

<ご注意ください>

- 表示される画面や音声は接続される機器やアダプタの動作や性能に依存します。
- 2K、4K、3D等の再生には対応していません。
- PC等のHDMI出力を接続してサブモニターとして、使用することが可能です。
その場合、設定をPC側で行ってください。(拡張設定や複製設定等)
- また接続する機器により表示できない場合があります。

ご注意

- 本機を運用した結果のいかなる影響についても、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 本取扱説明書は株式会社山善が著作権を保有します。
- 株式会社山善の著作物の一部または全部を無断で複製、転写、改変することを禁止します。
- 一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。
- 本機および本取扱説明書の内容について、不審な点やお気付きの点がございましたら弊社までご連絡ください。
- 本機は日本国内でのみ使用されることを前提として開発・製造されています。
- 本機を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- また、弊社は本機に関して日本国外での技術サポート、アフターサービスなどを行っておりません。あらかじめご了承ください。

本書の内容につきましては、万全を期しますが、ご不明な点や誤りなどございましたら、販売店もしくは弊社にご連絡ください。また、上記に関わらず、以下の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- ① 弊社の責任によらない製品の損傷、破損、または改造による故障や不具合
 - ② 本機をお使いになって生じたデータの消失または破損
 - ③ 本機のために費やした時間、経費
 - ④ 本機に付随する、または運用の結果もたらされた損害
 - ⑤ 本機によりもたらされるべき、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の損害
- また、本書に乱丁、落丁があった場合はお取り替えいたしますので、弊社までご連絡ください。

著作権について

- 市販の音楽CDなどを権利者の承諾なしに複製することは、個人で楽しむ以外は著作権法により禁止されています。個人で楽しむ目的であっても、作成した音楽データを権利者の承諾無しに第三者に配布することはできません。個人で楽しむ目的で録音した音楽データを、権利者の承諾なしに故意にインターネット上で配布することは、著作権の「公衆送信権」「送信可能権」に抵触し、おこなった場合は法律による処罰の対象になります。

個人情報のお取り扱いについて

- 株式会社 山善およびその関連会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

主な仕様

商 品 名	テレビ・ラジオ搭載パワーステーション
バッテリー容量	256Wh
バッテリー種別	リン酸鉄リチウムイオンバッテリー
防塵防水規格	IP44規格
許容動作温度	0℃～40℃ ※放電は-10℃まで
外部電源接続端子	給電用USB-A出力端子(2系統 各2.1A 最大合計4.2A) DC電源入力 出力コネクタ(Type-C PD 18W) AC出力(AC100V/50Hz) ※出力最大150W
連続使用時間※1	TV視聴: 約34時間 FMラジオ聴取: 約130時間 LEDライト: 約76時間
充電時間※1	約14時間 ※バッテリー残量0%から満充電まで
ライト点灯	3W
電源定格	DC12V/3.0A 入力範囲(DC +10V～+28V) 専用アダプタAC100V 50/60Hz
パネルサイズ	10.1インチワイド
液晶解像度	1024×600ピクセル
TV受信チャンネル	地上デジタル放送(フルセグ／ワンセグ放送対応) (UHF13～62ch)
FM受信周波数	76～99MHz(0.1MHzステップ) ※ワイドFM対応
HDMI入力	1系統(Type-A)
イヤホン出力	1系統(ミニジャック)
USB端子	1スロット(Type-A)
再生可能データ	MPEG4/MP3/JPEG ※その他の詳細はP.38～42参照
外形寸法	320(W)X261(H)X196(D)mm (ハンドル等の突起物を除く)
本体質量	約6.8Kg(バッテリー含む)
リモコン	専用リモコン「RC-DTV101」使用

※1 連続使用時間および充電時間は、状況、環境により異なります。また、充電池の経年劣化により、使用時間が短くなります。仕様および外観は改良のため予告なく変更する場合があります。

主な仕様

長年ご使用の製品点検を

このような事はありませんか？	●電源コードや電源プラグが異常に熱い。 ●電源コードを動かすと通電したりしなかったりする。 ●製品に触れるとビリビリと電気を感じる。 ●その他の異常・故障がある。	ご使用を中止	●故障や事故防止のため、スイッチを切り、電源プラグを抜いて、弊社サポートセンター又は販売店にご相談ください。
----------------	--	--------	--

■自己診断機能について

本機には自己診断機能があります。

使用中に自己診断機能がはたらき警告やエラーが発生しましたら、下記の内容にてご確認と対応をしてください。不明点がある場合やその他の事象が発生したときは、弊社サポートセンター又は販売店へご相談ください。

①温度ランプ(オレンジ色)

本体内部の温度が高温になると、温度ランプ(オレンジ色)が点灯し、ファンが回転します。異常ではありませんが、使用状況、環境温度とAC駆動負荷を確認してください。

②アラームランプ(赤色)

AC出力に問題が発生したら、アラームランプ(赤色)を点灯、表示画面にエラーコード"C1"が表示されます。AC出力に接続されている機器の状況を確認してください。

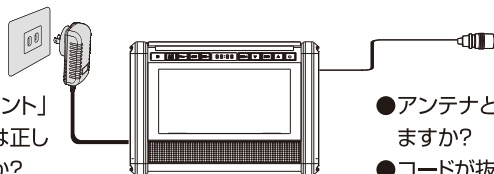
エラーコード	内容	対応方法
C1	AC出力に異常	AC電源部に接続された機器を全て外し、再確認してください。
C2	低温異常	適温な温度環境に移動し、再確認してください。
C3	高温異常	適温な温度環境に移動し、再確認してください。

故障かな?と思ったら

次のような場合は故障ではない場合があります。修理・検査のご依頼前にもう一度ご確認ください。

【まずご確認ください】

「電源が入らない」「放送が映らない」などの場合は、まず電源およびアンテナの接続を確認してください。



- 「電源プラグとコンセント」「電源コードと本体」は正しく接続されていますか?
- プラグやコードが抜けていませんか?

- アンテナと正しく接続されていますか?
- コードが抜けていませんか?
- 端子部分が汚れていませんか?

こんな場合は...		こちらをご確認ください
電源	電源が入らない	●電源プラグ⇄コンセント、電源コード⇄本機が抜けていませんか? ●主電源スイッチは正しく設定されていますか? ●充電は正しくされていますか?
リモコン	リモコン操作ができない	●リモコンの乾電池が消耗していませんか?(付属の電池は試供品につき、早めに新しい電池と交換してください) ●乾電池のプラス/マイナスが逆になっていませんか? ●リモコンをテレビ側リモコン受光部に正しく向けて操作していますか? ●リモコンと本体の間に遮断物はありませんか?
	CH+/-ボタンで特定のチャンネルが選局できない	●チャンネル登録は正常にできていますか? →アンテナとの接続やアンテナの設定などをご確認の上、再度チャンネルサーチを行ってください。 ※CATVやマンションの共聴システムをご利用の際はパススルー方式での受信に対応しているかご確認ください。
テレビを見ているとき	映像も音声も出ない	●アンテナ線が外れていませんか? ●入力先など間違っていないですか? ●外部機器との接続ケーブルが外れていませんか?
	映像は出るが、音声が出ない	●消音状態になっていませんか?音量が0になっていませんか? ●イヤホン端子にイヤホンなどを接続していませんか?
	音声が異音が入る 映像にノイズが出る	●本機の近くで携帯電話などの無線機器を使用していませんか? →無線機器類は本機と離してご使用ください。 ●受信電波信号が弱い状態ではありませんか? ●AC出力やスマートフォンの充電を停止することによりTV/FMの受信状態が良くなる場合があります。

故障かな?と思ったら

こんな場合は...		こちらをご確認ください
テレビを見ているとき	映像が悪い	●アンテナケーブル(元側/本機側)が外れていませんか? ●アンテナケーブルの断線などはありませんか? ●設置されているアンテナの向きがずれていませんか?故障していませんか? ●近所で落雷や電波障害などは起きていませんか? ●1本のアンテナ線を複数のテレビやチューナーなどに接続していませんか? ●本機の近くで電磁波が発生する電気製品を使用していませんか? ●映像調整は正しく設定されていますか? ●受信チャンネルは正しく設定されていますか? →地域が変わった場合は、放送帯が変わりますので再度設定が必要です。
	B-CASカードに関するメッセージが出る	●miniB-CASカードは正しく挿入されていますか? →miniB-CASカードを正しく挿入しないと、フルセグ放送は視聴できません。
	設置場所を変えたら(引っ越し等)視聴できなくなった...など	●本機の設置場所を他のエリアに移動させた場合、改めて受信チャンネルを設定しなおす必要があります。チャンネルサーチを再度実施して、正しくチャンネル設定を行なってください。
FMを聴いているとき	選局/受信が出来ない	●建物の中や高い建物の近くで、電波が弱くなっていませんか? ドアや電波を遮断する物はありませんか? →選局中や聴取中に、雑音や電波の強さの影響があるので、なるべく障害物がない環境で電気器具を離して使用することを推奨します。 ●AC出力やスマートフォンの充電を停止することにより、FMの受信状況が良くなります。受信状況と合わせてご確認ください。
充電や使用時間	充電時間が長い	●スマートフォンなどに充電していませんか? ●TV等のMediaを使用していませんか?
	給電できない電源として使用できない	●ケーブルや端子の接続はしっかり出来ていますか? →お使いの機器が推奨するケーブルを使用してください。 ●本体は十分に充電されていますか? ●お使いの機器が最大ワット数を超えていませんか?下記、参照にしてください。
	使用時間が短い	●バッテリーの寿命が考えられます。サポートセンターに問い合わせください。 ●本体は十分に充電されていますか?

故障かな?と思ったら

こんな場合は...		こちらをご確認ください
その他	外部メモリーのデータが再生できない	● 本機と接続した録画用メモリーのファイルシステム形式は本機に対応した形式になっていますか?→本機対応ファイル形式:「FAT32」 ● 保存されているデータが壊れていませんか? ● 外部データのファイル形式が本機に対応した形式で保存されていますか?→拡張子:(jpg)など ※外部メディアについての動作保証およびサポートは行っておりません。
	本体機器の温度上昇	● 温度ランプが点灯している時は、本体内部の温度が上昇していますので、一定時間たってから使用してください。また周囲温度が常温に近い環境にてご使用ください。 ● "C3"のエラーコードが表示された場合、本体内部がかなり熱くなっているので、直ちにご使用を中止してください。一定時間たってから使用してください。
	ソーラーパネルで充電がうまく行われない	● 太陽光が十分に当たっていますか? →太陽光がパネル受光部に垂直に当たるよう向きを調節する。 →ガラス越し、左右が仕切られた空間、くもり空などの環境では充電効率が低下するため、屋外・晴天時に使用する。 ● 付属ソーラーパネル接続ケーブルがきちんと接続されていますか? →本機の端子とソーラーパネルの端子にケーブルがしっかりと接続されているか確認する。
	緊急警報放送がうまく受信できない	● 本機の設定画面の警報設定で緊急警報放送が「オン」に設定されていますか? ● 本機の設定画面の警報設定で周波数を本機の設置場所に一番近いNHK-FM局に設定されていますか? ● 毎月1日に試験放送が実施されます。設定後、正常に受信できるかご確認ください。

■ACコンセントに接続してご使用になれる機器(150W以下)の目安

ACコンセントは最大150W 2口合計となります。接続する機器は、合計150W以下になるように接続してください。以下、目安となる消費電力です。

種類	消費電力	種類	消費電力
保冷温庫	40~60W	携帯ゲーム機	10~15W
ビデオカメラ	20~30W	携帯電話	15~25W
デジタルカメラ	20~30W	電気シェーバ	10~15W
モバイルパソコン	60~80W	照明機器	20~40W

※AC出力部には、①出力短絡保護回路、②オーバーロード保護回路、③異常温度保護回路が搭載されています。

故障かな?と思ったら

<ご注意ください>

- AC部に問題がある場合表示画面に"C1"のエラーコードと、内容によってはアラームランプが点灯します。P.48のエラーコード表を参照してください。
- 接続する機器の負荷電流状況によりバッテリー低容量時にはAC出力が出来ない場合があります。バッテリーの容量が少なくなってきましたら、充電してください。目安としては、50%以上でご使用をお奨めします。
- 本体内部の温度調整のため、内蔵ファンが作動する場合があります。